



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月6日

上場会社名 フォースタートアップス株式会社 上場取引所 東
コード番号 7089 URL <https://forstartups.com/>
代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）志水 雄一郎
問合せ先責任者（役職名）執行役員兼コーポレート本部長（氏名）菊池 烈（MAIL）ir@forstartups.com
半期報告書提出予定日 2025年11月6日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有（当社HPに掲載）
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,258	33.0	328	110.3	330	112.8	283	143.3
2025年3月期中間期	1,698	5.5	156	△48.6	155	△48.8	116	△45.7

（注）包括利益 2026年3月期中間期 195百万円（87.6%） 2025年3月期中間期 104百万円（△47.7%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	85.85	85.65
2025年3月期中間期	32.03	31.94

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	4,284	2,829	56.4
2025年3月期	3,666	2,479	59.0

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 2,417百万円 2025年3月期 2,164百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,850	31.3	850	87.7	770	71.4	610	72.4	184.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有

新規 1社(社名) アリカタ株式会社

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記 (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)」をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	3,300,600株	2025年3月期	3,647,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	191株	2025年3月期	326,291株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	3,305,754株	2025年3月期中間期	3,641,401株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「1. 当中間決算に関する定性的情報(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。また、当社は、2025年11月6日に決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
(中間連結損益計算書)	6
(中間連結包括利益計算書)	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(セグメント情報等の注記)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、公表している2026年3月期から2028年3月期を対象とした3カ年の中期経営方針に基づき、「①質・量ともにNo.1のスタートアップHRの実現」「②スタートアップ支援メニューの拡充」「③M&Aなどによる事業規模の拡大」の3本柱を掲げ、起業家や挑戦者を包括的に支援する「成長産業支援プラットフォーム」の構築を推進しております。

本方針に基づき、ヒューマンキャピタル事業におけるより多くの求職者との接点拡大を重視した営業戦略への転換や、オープンイノベーション事業を中心とするクロスセル強化を推進した結果、当中間連結会計期間における売上高は2,258,278千円(前年同期比33.0%増)、営業利益は328,614千円(前年同期比110.3%増)、経常利益は330,936千円(前年同期比112.8%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は283,803千円(前年同期比143.3%増)となりました。

各セグメント及びサービス別の経営環境及び経営成績は次のとおりであります。なお、当中間連結会計期間より報告セグメントを見直し、従来の「タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業」を「ヒューマンキャピタル事業」と「オープンイノベーション事業」に区分しております。

(ヒューマンキャピタル事業)

人材紹介サービスにおいては、「質・量ともにNo.1のスタートアップHRの実現」を目指し、社員一人あたり決定件数(生産性)を向上するべく、より多くの求職者との接点拡大を重視した営業戦略の最適化を進めました。その結果、成約件数の増加及び社員一人あたり決定件数の改善が進みました。さらに、高年収帯の求職者の割合が増加したことにより単価も高水準を維持したことから、人材紹介サービス売上高は前年同期比で大きく増加いたしました。

人材紹介サービスの主要な業績指標は以下のとおりです。

期間	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
入社数(人)	366	471
人材紹介平均単価(千円)	3,880	3,988

- (注) 1. 入社数は、特定期間における正社員の人材紹介人数であり、業務委託契約を除いております。紹介した候補者が入社後一定期間内(早期)に自己都合退職した場合には紹介企業から収受した紹介手数料の一定割合を契約に基づき返金しますが、当該返金対象取引も取引数に含めております。
2. 人材紹介平均単価は、特定期間における売上計上対象となった経営管理上の人材紹介売上高(業務委託契約を除く成功報酬型のコンサルティングフィー)のみを上記の人材紹介取引数で除した数値です。紹介した候補者が入社後一定期間内(早期)に自己都合退職した場合には紹介企業から収受した報酬の一定割合を契約に基づき返金しますが、上記の経営管理上の人材紹介売上高では当該返金額を控除せず、集計しております。
3. 成功報酬型以外のコンサルティングサービスは上表には含めておりません。

コンサルティングサービスは、社内体制の見直しにより提案力の向上及び営業効率の改善が進み、計画を上回るペースで順調に推移いたしました。

これらの結果、当中間連結会計期間におけるヒューマンキャピタル事業の売上高は2,039,365千円(前年同期比30.7%増)、セグメント利益は895,139千円(前年同期比31.6%増)となりました。

(オープンイノベーション事業)

オープンイノベーション事業は、官公庁・自治体におけるスタートアップ関連事業を受託して産学官の連携を支援する「Public Affairs」において案件獲得が順調に推移したことに加え、当社グループが運営するデータベース「STARTUP DB」の大手企業向け有料会員サービスにおける契約数増加や料金改定が売上高増加に寄与いたしました。これらの結果、当中間連結会計期間におけるオープンイノベーション事業の売上高は218,912千円(前年同期比58.5%増)、セグメント利益は7,215千円(前年同期は61,811千円の損失)となりました。

(ベンチャーキャピタル事業)

当セグメントには、子会社であるフォースタートアップスキャピタル合同会社、及び同社を通じて組成したフォースタートアップス1号投資事業有限責任組合が含まれております。ベンチャーキャピタル事業では、当社のヒューマンキャピタル事業の人材支援先に対して、成長産業支援をより強固にするためのスタートアップ投資を行うファンドを運営しております。投資対象は、国内のスタートアップ企業等のうちミドル・レイターステージ及び起業支援案件となります。

当中間連結会計期間においては、フォースタートアップス1号投資事業有限責任組合が保有する非上場株式について、超過収益力を反映した実質価額が取得価額に比べて著しく低下したため、営業投資有価証券評価損として93,153千円を売上原価に計上いたしました。また、定常的に発生している管理費用を含めて、セグメント損失は97,120千円(前年同期は3,722千円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)	対前期増減
資産(※1)	3,666,392	4,284,118	617,725
負債(※2)	1,187,273	1,454,477	267,203
(うち、有利子負債)	513,000	456,000	△57,000
純資産(※3)	2,479,118	2,829,640	350,521

主な対前期増減の内容

(※1) 現金及び預金(△100,424千円)、営業投資有価証券(110,052千円)、投資有価証券(549,241千円)、売掛金(56,943千円)

(※2) 未払法人税等(140,969千円)、未払消費税等(66,732千円)、未払費用(43,213千円)

(※3) 利益剰余金(△112,355千円)、自己株式(364,012千円)、非支配株主持分(99,160千円)

(3) キャッシュ・フローに関する説明

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	対前年同期増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	270,818	339,240	68,421
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,495	△551,336	△536,841
財務活動によるキャッシュ・フロー	489,605	98,574	△391,030
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,401,603	1,794,936	△606,667

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の期末残高は1,794,936千円となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、増加した資金は339,240千円となりました。主な増加要因は税金等調整前中間純利益の計上額331,615千円、未払消費税の増加額66,732千円、未払費用の増加額43,213千円であり、主な減少要因は営業投資有価証券の増加額110,052千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、減少した資金は551,336千円となりました。主な減少要因は投資有価証券の取得による支出551,000千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、増加した資金は98,574千円となりました。主な増加要因は非支配株主からの払込みによる収入187,000千円であり、主な減少要因は長期借入金の返済による支出57,000千円、自己株式の取得による支出32,146千円であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日付で公表した予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日(2025年11月6日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,895,360	1,794,936
売掛金	484,503	541,447
営業投資有価証券	378,171	488,224
前払費用	37,926	53,864
その他	18,224	5,734
貸倒引当金	△1,289	△1,414
流動資産合計	2,812,898	2,882,792
固定資産		
有形固定資産	348,491	328,592
投資その他の資産		
投資有価証券	89,283	638,524
その他	419,734	434,209
貸倒引当金	△4,015	△0
投資その他の資産合計	505,003	1,072,733
固定資産合計	853,494	1,401,325
資産合計	3,666,392	4,284,118
負債の部		
流動負債		
未払金	208,318	219,253
1年内返済予定の長期借入金	114,000	114,000
未払費用	178,214	221,428
未払法人税等	32,220	173,190
未払消費税等	17,261	83,993
賞与引当金	103,589	130,806
その他	134,670	169,805
流動負債合計	788,273	1,112,477
固定負債		
長期借入金	399,000	342,000
固定負債合計	399,000	342,000
負債合計	1,187,273	1,454,477
純資産の部		
株主資本		
資本金	238,412	238,777
資本剰余金	238,729	239,095
利益剰余金	2,051,501	1,939,145
自己株式	△364,228	△216
株主資本合計	2,164,414	2,416,802
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	485	353
その他の包括利益累計額合計	485	353
新株予約権	913	19
非支配株主持分	313,304	412,464
純資産合計	2,479,118	2,829,640
負債純資産合計	3,666,392	4,284,118

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,698,004	2,258,278
売上原価	291,761	504,222
売上総利益	1,406,242	1,754,056
販売費及び一般管理費	1,250,001	1,425,441
営業利益	156,241	328,614
営業外収益		
受取利息	146	1,725
助成金収入	150	3,310
業務受託料	493	1,012
雑収入	962	1,225
営業外収益合計	1,753	7,274
営業外費用		
支払利息	632	3,223
投資事業組合運用損	1,269	1,465
自己株式取得費用	600	262
営業外費用合計	2,502	4,951
経常利益	155,492	330,936
特別利益		
固定資産売却益	—	2
新株予約権戻入益	—	884
特別利益合計	—	886
特別損失		
固定資産除却損	32	207
特別損失合計	32	207
税金等調整前中間純利益	155,459	331,615
法人税、住民税及び事業税	63,487	157,675
法人税等調整額	△12,314	△22,023
法人税等合計	51,172	135,652
中間純利益	104,287	195,963
非支配株主に帰属する中間純損失(△)	△12,337	△87,839
親会社株主に帰属する中間純利益	116,624	283,803

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	104,287	195,963
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	90	△132
その他の包括利益合計	90	△132
中間包括利益	104,377	195,831
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	116,714	283,671
非支配株主に係る中間包括利益	△12,337	△87,839

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	155,459	331,615
減価償却費	57,668	21,744
株式報酬費用	△251	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1,058	△3,889
賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,011	27,217
受取利息	△146	△1,725
支払利息	632	3,223
固定資産除却損	32	207
投資事業組合運用損益(△は益)	1,269	1,465
売上債権の増減額(△は増加)	166,908	△56,943
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	—	△110,052
未払金の増減額(△は減少)	△13,550	9,194
未払費用の増減額(△は減少)	46,082	43,213
未払消費税等の増減額(△は減少)	△21,839	66,732
その他	1,609	30,812
小計	372,806	362,815
利息の受取額	146	1,725
利息の支払額	△1,896	△3,098
法人税等の支払額	△100,237	△22,202
営業活動によるキャッシュ・フロー	270,818	339,240
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,190	△312
有形固定資産の売却による収入	—	2
投資有価証券の取得による支出	—	△551,000
敷金及び保証金の差入による支出	△305	△790
敷金及び保証金の回収による収入	—	763
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,495	△551,336
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	570,000	—
長期借入金の返済による支出	—	△57,000
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	721
自己株式の取得による支出	△80,394	△32,146
非支配株主からの払込みによる収入	—	187,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	489,605	98,574
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	745,928	△113,521
現金及び現金同等物の期首残高	1,655,674	1,908,457
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,401,603	1,794,936

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

1. 連結の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間より、新たに設立したアリカタ株式会社(設立日2025年7月17日)を連結の範囲に含めております。

2. 持分法適用の範囲の重要な変更

当中間連結会計期間より、新たに株式を取得したG0ジョブ株式会社(取得日2025年9月9日)を持分法適用の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は2025年2月7日開催の取締役会決議に基づき、当中間連結会計期間において自己株式23,900株を取得しました。これにより、自己株式が32,146千円増加しております。

また、2025年6月18日開催の取締役会決議に基づき、2025年6月30日に自己株式350,000株の消却を実施しました。これにより、利益剰余金及び自己株式がそれぞれ396,158千円減少しております。

以上の結果等により、当中間連結会計期間末において利益剰余金が1,939,145千円、自己株式が216千円となっております。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金勘定	2,382,659千円	1,794,936千円
流動資産 その他(証券会社預け金)	18,944	—
現金及び現金同等物	2,401,603	1,794,936

(注) 証券会社預け金は自己株式取得のため、証券会社に対しての一時的な預け入れであり、随時引き出し可能であることから現金及び現金同等物に含めております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注1)
	ヒューマン キャピタル	オープンイノ ベーション	ベンチャー キャピタル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,559,884	138,119	—	1,698,004	—	1,698,004
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,559,884	138,119	—	1,698,004	—	1,698,004
セグメント利益 又は損失(△)	680,287	△61,811	△3,722	614,753	△458,511	156,241

(注) 1. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配賦しない一般管理費であります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				調整額 (注2)	中間連結 損益計算書 計上額 (注1)
	ヒューマン キャピタル	オープンイノ ベーション	ベンチャー キャピタル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	2,039,365	218,912	—	2,258,278	—	2,258,278
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,039,365	218,912	—	2,258,278	—	2,258,278
セグメント利益 又は損失(△)	895,139	7,215	△97,120	805,233	△476,619	328,614

(注) 1. 報告セグメントの利益又は損失は、営業利益ベースの数値であります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配賦しない一般管理費であります。

3. 2025年7月17日付けで新規設立し連結子会社としたア리카タ株式会社は、「ヒューマンキャピタル」に含めております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当中間連結会計期間より報告セグメントを見直し、従来の「タレントエージェンシー&オープンイノベーション事業」を「ヒューマンキャピタル事業」と「オープンイノベーション事業」に区分しております。

当社グループの事業拡大や経営戦略の進展に伴い、当社グループの実態をよりの確に反映した情報開示を行うため、経営資源配分の妥当性や経営戦略との整合性を明確化することを目的としております。

前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。